

施策分析シート（平成29年度）

No1

施策名	青少年健全育成運動への支援	施策No	10-05	部課名	子育て支援部児童青少年課		
				課長名	辻 内線 3830		
関連部課名	総務企画部総務企画課、区民生活部区民課						
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
目的	青少年健全育成団体を支援し、青少年の見守りや育成活動の継続を図る。 青少年の社会参加を促進し、青少年福祉の阻害行為を防止し、青少年の健全育成を図る。 荒川区の特色を活かした活動により、次代を担う子どもたちの健やかで豊かな成長を図る。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		26年度	27年度	28年度			
	地域に頼れる人がいる実感度	2.63	2.65	2.71	お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		26年度	27年度	28年度	29年度 見込み		目標値 (38年度)
	社明運動参加者数	32,216	32,134	29,780	33,000	33,000	各地区の社会を明るくする運動の参加者数
	子どもまつり参加者数	20,790	23,650	22,440	25,000	25,000	各地区の青少年育成事業（子どもまつり）の参加者数
	非行少年検挙補導数	1,220	1,400				区内警察署の統計による（年単位1月～12月）件数

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額	
	行政費用	給与関係費		13,708		行政収入	地方税等		0
		物件費		643			国庫支出金		0
		維持補修費		0			都支出金		806
		扶助費		0			分担金及び負担金		0
		補助費等		12,481			使用料及び手数料		0
		減価償却費		0			その他		0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0			行政収入合計(a)		806
		賞与・退職給与引当金繰入額		796			行政収支差額(a)-(b)=(c)		26,822
		その他行政費用		0			金融収支差額(d)		0
行政費用合計(b)			27,628		通常収支差額(c)+(d)=(e)			26,822	
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		26,822			
貸借対照表	流動資産	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	固定資産	収入未済		0		流動負債		556	
		不納欠損引当金		0		還付未済金		0	
		その他の流動資産		0		特別区債		0	
		有形固定資産		0		賞与引当金		556	
		土地		0		その他の流動負債		0	
		建物		0		固定負債		6,517	
		建物減価償却累計額		0		特別区債		0	
		工作物等		0		退職給与引当金		6,517	
		工作物等減価償却累計額		0		その他の固定負債		0	
		無形固定資産		0		負債の部合計		7,074	
		建設仮勘定		0		正味財産		7,074	
		その他の固定資産		0		正味財産の部合計		7,074	
資産の部合計			0		負債及び正味財産の部合計		0		

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>青少年育成地区委員会、同連絡協議会、社会を明るくする運動推進委員会、「あらかわの心」推進運動区民委員会等の団体が、町会、学校、警察、民間企業等の関係機関と連携を図りながら、地域に根付いた活動を行っており、参加者も多く、青少年健全育成活動の枠をこえて、環境美化活動や地域見守り活動等の多面的な展開をみせている。</p> <p>特に、「あらかわの心」推進運動については、あいさつの励行、相手への思いやりといった社会規範や倫理感を醸成させるための区民運動として、有意義な試みである。</p> <p>財務諸表では、給与関係費を除くと地区委員会補助金などの補助費が全体の4割を占めている。</p>
課題	<p>運動を担っている方々が、全体的に固定化しているなどの課題がある。</p> <p>インターネット関連の犯罪・児童虐待など、近年の青少年問題は複雑化・多様化してきている。</p> <p>より円滑な事業執行を図るため、関係機関とより一層連携を強めていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>地域が主体となって展開している活動は、地域コミュニティを活性化する上で大変重要であり、今後とも活動が発展していくよう、効果的な支援に努める。</p> <p>平成28年3月に策定した「平成28年度・29年度荒川区青少年健全育成基本方針」に基づき、各青少年育成地区委員会、町会、関係機関等と連携を取り、荒川区の特色を活かした青少年健全育成活動を実施していく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
推進	推進	<p>青少年育成運動は、地域に定着し、活気ある地域コミュニティを形成するうえで必要不可欠な施策となっている。</p> <p>防災、防犯、環境美化等の面からも大きな役割を果たしており、区として引き続き推進していく必要がある。</p>

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のた めの分類		分類についての説明・意見等
		27年度	28年度	29年度	30年度	
保護司会支援事業	01-01-09	540	800	継続	継続	犯罪の予防や青少年の健全育成、区の安全安心の向上のため、引き続き保護司会に対する支援を行っていく。
青少年問題協議会運営費	10-02-08	131	321	継続	継続	現状の内容で継続する。
地区委員会補助金	10-02-10	7,830	9,030	推進	推進	青少年の健全育成を進める地域活動の要の組織体であり、今後も充実を図る。
“社会を明るくする運動”地区推進委員会補助	10-02-11	1,015	1,015	継続	継続	現状の内容で継続する。
「あらかわの心」推進運動への支援	10-02-12	3,613	1,636	推進	推進	区民への周知に努め、運動を推進していく必要がある。
“社会を明るくする運動”推進事業	10-02-13	454	605	継続	継続	現状の内容で継続する。
合 計		13,583	13,407			